

いわき天体観測所

旧観測所から新観測所へ
40年を振り返って

一般社団法人 いわき天体観測所
所長・理事長 西村 一二



1988年11月6日、5年目の開所式



旧観測所(屋根が動くスライディングルーフ)

観測所はどんなところ？



福島県いわき市郊外
阿武隈山地、山の中

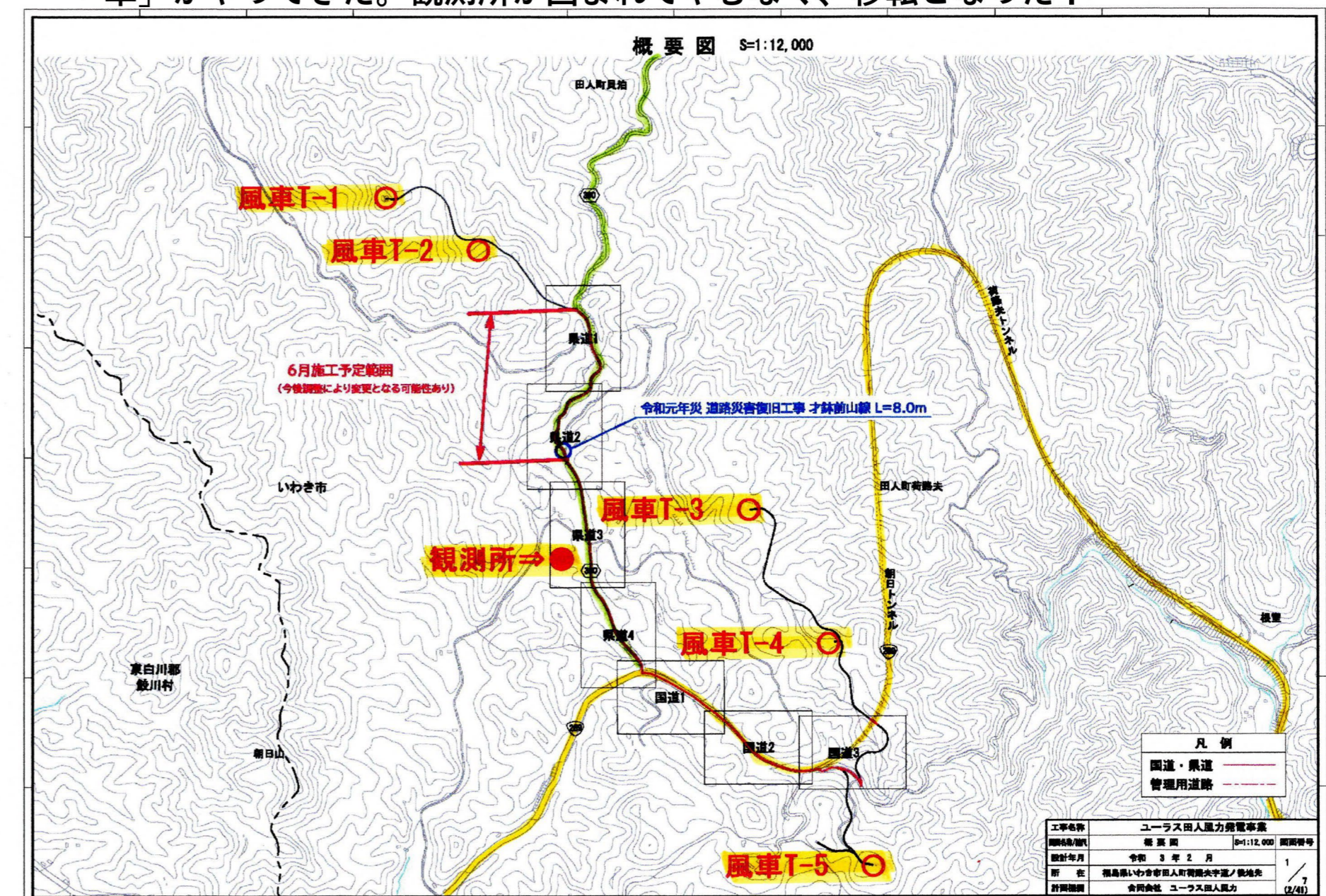
関東地方の星好き
の仲間20人による
共同出資でスタート



旧観測所のメイン機材、ミカゲ350赤道儀ほか



東日本大震災後、近所の牧場やゴルフ場が閉鎖になり「風力発電の風車」がやってきた。観測所が囲まれてやむなく、移転となった！



新観測所(ユニット6棟とスライディング2棟から構成)



観測所が移転することになった理由は・・・

- 2015年 7月 地元集会所にて「風力発電事業」の住民説明会
- 2016年 11月 観測所の移転について(要望書)
- 2017年 2月 第1回交渉(風車会社本社)

長～い移転交渉が始まる
それと平行して新観測所用地(借地)を探し始める

- 2020年 4月 風車会社と合意書締結。
- 2020年 7月 7日 一般社団法人いわき天体観測所を設立登記
- 2022年末には、新観測所へほぼ移転終了(光回線導入)
- 2024年 3月 風車竣工式、現地風車見学会

新観測所、ユニット内部(冷暖空調はオール電化)



光回線は快適です

福島県いわき市郊外阿武隈山中の新旧観測所を約40年にわたり維持・管理しての長所・短所と閉所について

- 当初は別荘ライフの観測所を目指したが
- ①何分、自宅からでは遠すぎて年に何度も通えない
 - ②旧観測所は維持費(電気・電話(有線)等)が思いのほか高コスト
 - ③20名でスタートしたが、やがて子育て世代に入り、通えなくなった
 - ④子育ても一段落、リタイヤして観測に入ろうとした段階での移転話
 - ⑤いわゆる大人の事情で「法人格」取得が必須となった
NPO法人は人数の関係で物理的に無理、非営利の一般社団設立へ
 - ⑥この移転話を機会に「退所」する所員、結局5名が残り新観測所に移転
 - ⑦観測ルーフを2棟にしたので、各人が自由に機材の設置場所が確保出来た
 - ⑧ランニングコスト的にも新観測所の方が経費的に安い
 - ⑨ユニット棟も内部は広く、数日の長期滞在は快適

2030年度末を持って閉所します(決定事項)